

精從懇シンポジウム

精神保健従事者 として身体拘束 を考える

<企画趣旨>

報道等により精神科医療における身体拘束が社会問題として提起されるなか、その実態や増加要因はいまだ明らかとなっていない。他に代替方法がない場合の緊急避難措置であるべき身体拘束については、行動制限限最小化に向けた真摯な取り組みが各地から報告されている一方で、総体としては減っていかない現状を私たち精神保健従事者はどう考えるのか。本来性善説で成り立っているはずの医療ではあるが、今後さらなる法的規制の導入を必要としているのであろうか。本シンポジウムでは、精神医療現場で身体拘束と向き合わざるを得ない精神保健従事者の立場から、この問題とともに考え明日に向かう第一歩としたい。

定員：200人

参加費：1,000円(資料代)*当日支払

精神保健従事者団体懇談会

日程

2019年

3月16日(土)

13:30~16:40(受付 13:00~)

会場

TKP 田町カンファ
レンスセンター

〒108-0014 東京都港区芝5-29-14



アクセス

JR 山手線・京浜東北線

田町駅三田口(西口)徒歩5分

都営三田線・浅草線

三田駅 A3 出口徒歩5分



第1部

基調報告

13:30~14:45

精神科医療における身体拘束の実態と構造的問題

講師：長谷川利夫(杏林大学保健学部 教授)

第2部

シンポジウム

15:00~16:40

精神保健従事者として身体拘束を考える

シンポジスト①：岩下 覚 (桜ヶ丘記念病院 院長)

シンポジスト②：湯田 文彦(医療法人昨雲会飯塚病院 看護部長)

シンポジスト③：今井 淳司(東京都立松沢病院 医長)

指定討論：宇田川 健(COMHBO 地域精神保健福祉機構 共同代表)

コメンテーター：長谷川 利夫(杏林大学保健学部 教授)

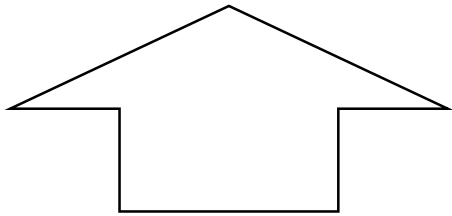
お申込みは、裏面の FAX 申込み用紙か

Web 申込 <http://sejukon.com/> からお申込みください。

<お問合せ先>一般社団法人日本精神科看護協会

〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33

TEL:03-5796-7033 FAX:03-5796-7034



FAX 申込用紙

精従懇シンポジウム

FAX 番号 03-5796-7034 担当: 澤口行

※下記内容をご記入の上、**3月4日(月)迄にお申込み**下さい。

ふりがな	
申込者氏名	
主な職種 (1つ選択)	医師 弁護士 当事者 その他() 看護師 精神保健福祉士 家族 作業療法士 保健師 学生() 心理職 社会福祉士
連絡先	〒 —
	電話番号 — () / FAX番号 — ()
所属施設名	
所属団体 (複数選択可)	全国自治体病院協議会 全国精神医療労働組合協議会 全国精神障害者地域生活支援協議会 全国精神保健福祉センター長会 全国精神保健福祉相談員会 全国保健・医療・福祉心理職能協会 全日本自治団体労働組合衛生医療評議会 日本作業療法士協会 日本児童青年精神医学会 日本精神科看護協会 日本精神神経学会 日本精神保健看護学会 日本精神保健福祉士協会 日本総合病院精神医学会 日本病院・地域精神医学会 日本臨床心理学会 その他() 加入なし

※ご記入頂きました個人情報、研修会の開催にあたり必要なものであり、この目的以外に使用することはありません。

※申込後1週間経過しても、結果通知が届かない場合は事務局までご連絡ください。

受講申込みの結果(通知)

()お申込を受け付けました ()定員に達したため受付を終了しました

担当事務局: 一般社団法人日本精神科看護協会 TEL: 03-5796-7033